

《平成27年度～平成29年度》

宮崎市中期財政計画のポイント

～「将来に責任ある、自立した財政運営」を目指して～

★目次★

はじめに 中期財政計画の概要	… 1
(1)現計画の検証～目標の達成度	… 2
①目標1 市債残高の圧縮	… 3
②目標2 財政5基金残高の確保	… 4
③目標3 行政運営経費の削減	… 5
(2)新たな財政計画の方向性	… 6
(3)新たな財政目標	
①新たな財政目標の設定	… 7
②財政収支試算	… 8
③基金・市債残高及び公債費等の推移見込み	… 9
(4)第四次宮崎市総合計画後期基本計画財政見通し	…10

平成26年10月
宮崎市企画財政部財政課





「宮崎市中期財政計画」～「将来に責任ある、自立した財政運営」を目指して～

はじめに 中期財政計画の概要

★中期財政計画とは

- 宮崎市の財政運営の基本的な指針。
真に必要な市民サービスを提供する上で、必要不可欠な健全財政を実現するための財政健全化対策や財政目標をまとめたものです。
普通会計を対象とします。

★計画の期間

- 平成27年度から平成29年度までの3年間。
※現計画については、5年間(平成22年度～平成26年度)ですが、第四次宮崎市総合計画後期基本計画との連動を図るため、終期を同じとしました。

★主な財政健全化対策

- 歳入
市税の収納率向上、市債発行額の抑制。
「元金ベースのプライマリーバランスの黒字化」厳守。
- 歳出
人件費・普通建設事業費・物件費・補助費等の削減。

(1) 現計画の検証～目標の達成度

(1) 現計画の検証

計画期間：平成22年度～平成26年度

理想とする財政のすがた：自立した、持続可能な財政

《目標の達成状況》

(億円)

目 標		結果	H22 決算	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 試算	合計
目標1	市債残高150億円以上の圧縮 (H21決算比 普通会計ベース)	達成	▲ 20	▲34	▲34	▲34	▲29	▲151
目標2	財政5基金残高200億円以上の確保	達成	244	258	262	292	272	—
目標3	行政運営経費80億円以上の削減 (H22予算比 一般財源ベース)	達成	—	▲6	▲12	▲30	▲33	▲81

(1) 現計画の検証～目標の達成度

① 目標1：市債残高150億円以上の圧縮
【H21決算比・5カ年間の合計】

市債残高		達成
目 標	150億円以上の圧縮	
H26当初 予算時	150億3,200万円	
H26末見込み	150億5,000万円	

《主な要因》

各年度の予算編成において、元金ベースのプライマリーバランスの黒字化を念頭に、市債発行額を抑制したことによるものです。

(1) 現計画の検証～目標の達成度

② 目標2: 財政5基金残高200億円以上の確保

基金残高		達成
目 標	200億円以上の確保	
H26当初 予算時	259億5,200万円	
H26末見込み	272億4,000万円	

《主な要因》

税の収納率が向上したことなど、当初の計画より歳入を安定的に確保することができたことに加え、行政運営経費(人件費・普通建設事業費など)を計画的に削減してきたことによるものです。

(1) 現計画の検証～目標の達成度

③ 目標3: 行政運営経費80億円以上の削減 【H22予算額と4ヵ年間の合計を比較】

行政運営経費	
目 標	80億円以上の削減
H26当初 予算時	80億4,200万円

達 成

《主な要因》

スクラップ&ビルドの徹底、アウトソーシング(外部委託)による業務のスリム化、人件費・普通建設事業費の見直しなどを行ったことによるものです。

(2) 新たな財政計画の方向性

(2)① 新たな財政計画の方向性

★理想とする財政運営のすがた

- 歳入・歳出の一体的な財政健全化に向けた対策を行い、理想とする財政運営のすがた 「将来に責任ある、自立した財政運営」の実現を目指します。

★財政健全化対策の構築

- 負担を先送りしない、「将来に責任ある財政運営」を実現するため、市債残高を圧縮します。
- 身の丈に合った「自立した財政運営」を実現するため、収支不足を解消します。

★具体的な取り組み

- 歳入
 - 市 税～差押の徹底や不動産公売の定例化、口座振替の促進などにより収納率を向上。
※収納率の目標(現年度分 H27:98.1% H28:98.15% H29:98.2%)
 - 市 債～元金ベースのプライマリーバランスの黒字化を厳守し、発行額を抑制。
 - 使用料・手数料～統一的な基準を定め、料金の見直しを行う。
- 歳出
 - 人件費～宮崎市定員適正化計画に基づき、適正な職員数を管理。
 - 物件費～宮崎市公共施設経営基本方針に基づく「総量の最適化」「質の向上」への取組や事業評価を活用した事業の見直しなどにより経費を削減。

(3) 新たな財政目標

(3)① 新たな財政目標の設定

現計画の検証や財政健全化対策の構築を踏まえ、新たな財政目標を設定しました。

新計画の財政目標	
(目標年度:平成27年度～平成29年度)	
目標1	市債残高120億円以上の圧縮を目指す (対26比 普通会計ベース)
目標2	財政5基金残高200億円以上の確保を目指す ※財政5基金:財政調整基金、公共施設整備等基金、財源対策債等償還基金 土地開発基金、地域振興基金
目標3	歳入歳出改革による一般財源の確保・削減(13億円)を目指す (対26比 一般財源ベース) ※使用料・手数料の見直し、人件費、物件費、補助費等の削減 ※目標値は、普通交付税の合併算定替え縮減分(H26普通交付税決定額から推計)

(3) 新たな財政目標

(3)② 財政収支試算

(単位:億円)

区分	H26 予算額	H27 計画額	H28 計画額	H29 計画額
歳入①	1,539	1,543	1,558	1,527
歳出②	1,539	1,551	1,562	1,527
収支①－②	0(▲12)	▲8	▲4	0

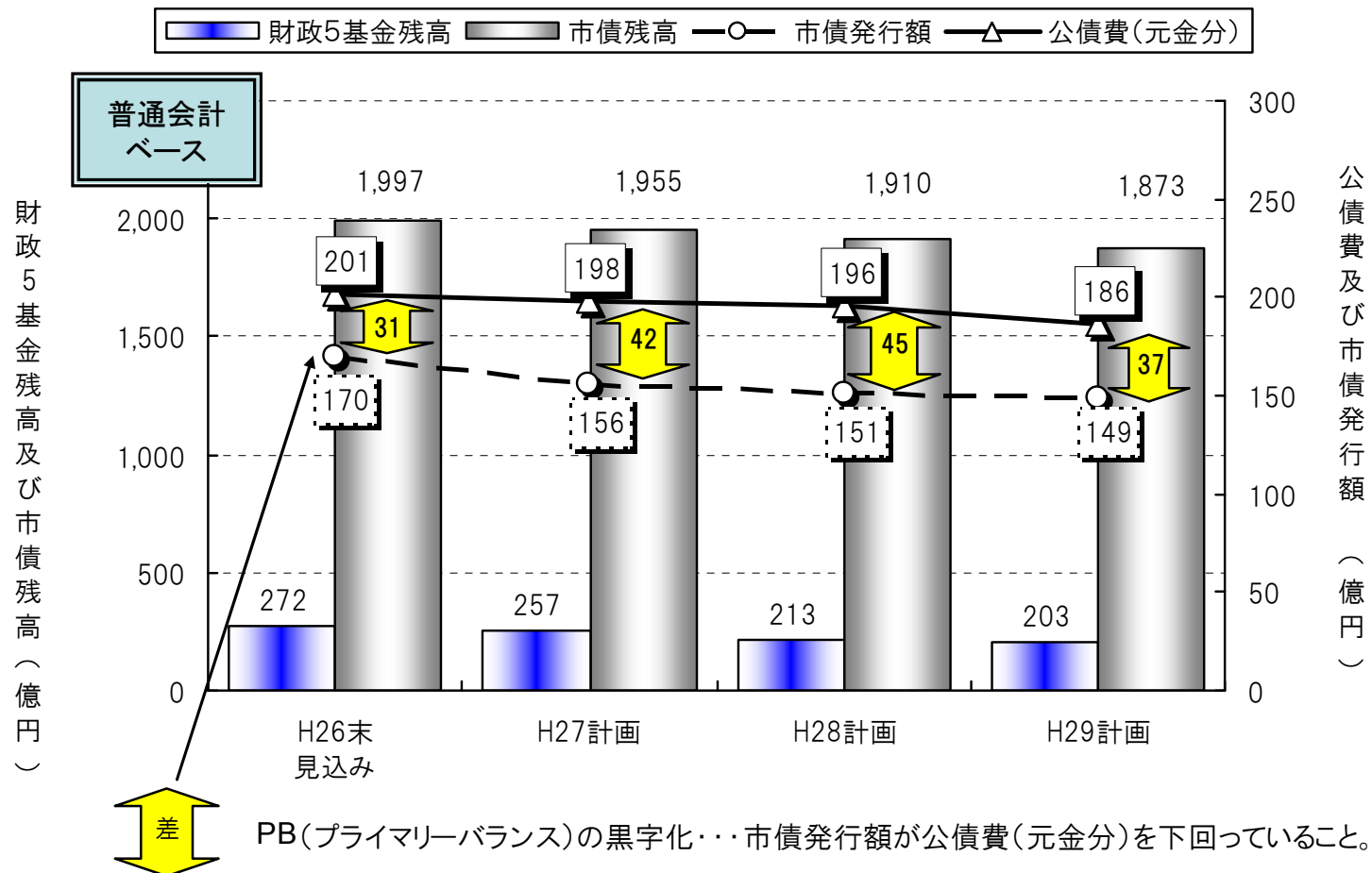
区分	H26末 見込み	H27 計画額	H28 計画額	H29 計画額	目標達成 見込額
目標1:市債残高	1,997	1,955	1,910	1,873	124
目標2:財政5基金残高	272	257	213	203	203
目標3:歳入歳出改革による 一般財源の確保・削減	-	1	4	8	13
市債発行額 ③	170	156	151	149	-
公債費(元金)④	201	198	196	186	-
PB(プライマリーバランス)④－③	31	42	45	37	-

※H26予算額における歳入①には、財政調整基金からの取崩額12億円を含みます。

※目標1の市債残高には、宮崎公立大学の債務承継分(H26末約8億6000万円)を含みます。

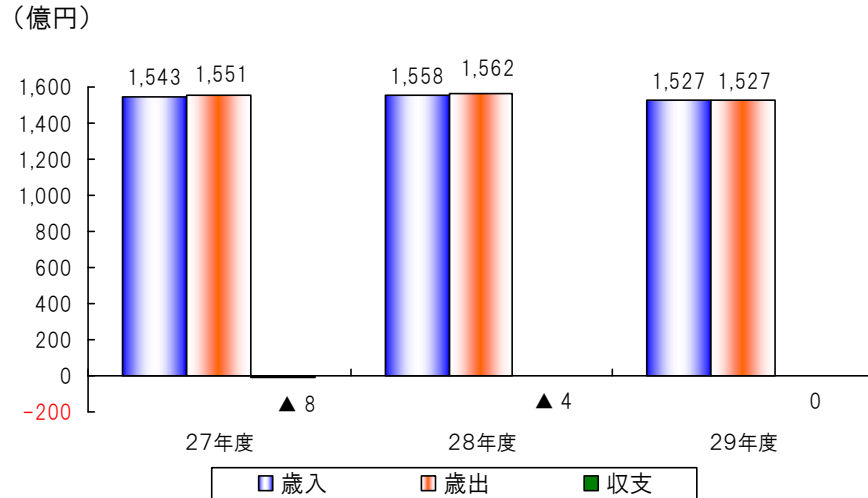
(3) 新たな財政目標

(3)③ 基金・市債残高及び公債費等の推移見込み

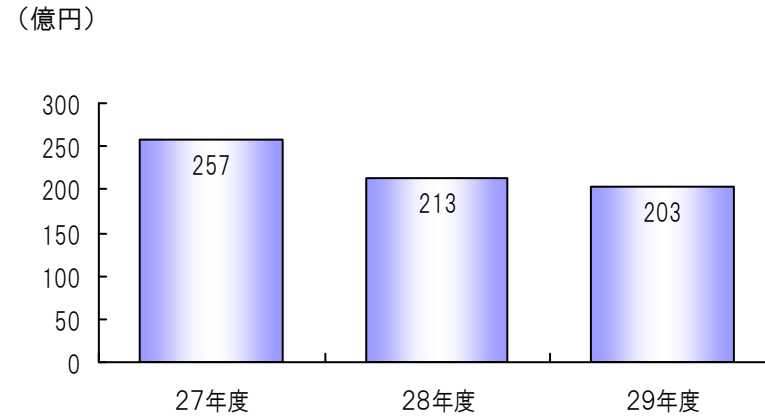


(4) 第四次宮崎市総合計画 後期基本計画 財政見通し

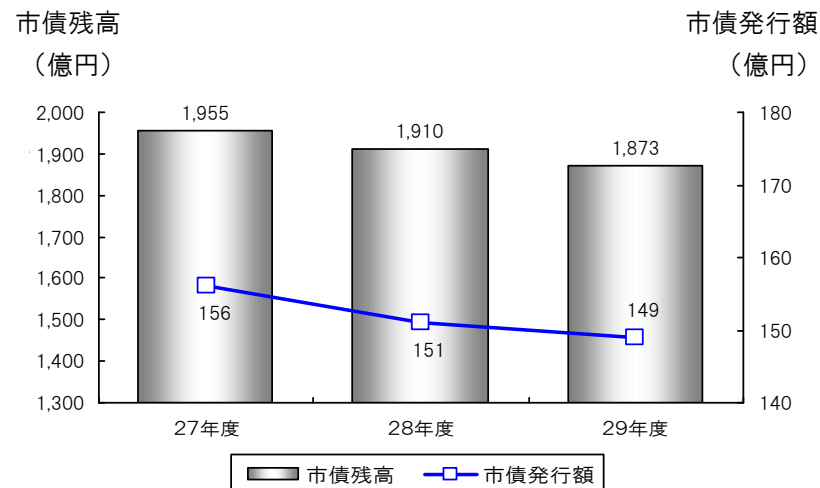
普通会計収支見通し



財政5基金残高(見込み)



市債残高および市債発行額(見込み)



★中期財政計画(H27～H29)は、第四次宮崎市総合計画後期基本計画(H25～H29)の終期と同じとすることから3年間の財政見通しを試算しています。

試算結果

- 平成29年度での収支黒字化を見込む。
- 財政5基金残高は200億円以上を確保。
- 市債残高は120億円以上の圧縮を見込む。